地域をつなぐお手伝い ―だれもが住み慣れたまちで安心して暮らせる社会をめざして―

社協だより

第191号
令和元年7月1日発行

発行者 ふれあいネットワーク
社会福祉法人
三沢市社会福祉協議会
〒033-0011 三沢市幸町三丁目11－5
TEL 0176-53-3422　FAX 0176-52-4545
http://misawa-shakyo.jp/　ホームページ→

「介護者の集い」参加者募集のお知らせ

ご家庭で毎日介護にあたっている皆さま、少しお疲れではありませんか？

介護者の皆さまのリフレッシュを目的に、今年も「介護者の集い」を開催いたします。今年は日帰りで弘前市にある津軽藩ねぷた村に足を延ばし、民工芸製作体験を計画しています。

介護の悩みや自身の体験、自分なりの工夫など、参加者同士で交流をしながら、これからのより良い介護の参考にしていただきたいと考えます。

皆様のお申込みをお待ちしています。

●**行き先**　津軽藩ねぷた村（弘前市）

●**日時**　7月24日(木)
8時30分～16時45分

●**参加費**　無料

●**日程**
8時半　受付開始
総合社会福祉センター出発
9時　津軽藩ねぷた村
11時　昼食・民工芸製作体験
14時　津軽藩ねぷた村出発
15時　道の駅
16時45分　到着・解散

●**募集人数**　20名
※寝たきりや認知症の高齢者、障害児・者等の介護者が対象です。

●**申込締切**　7月17日(水)

●**申込み・お問合せ先**
社協または、各家庭を訪問している保健師、ヘルパー、ケアマネジャー等の方々にお申込みください。

配食サービス事業「ふれあいランチ」

ご自宅までお昼のお弁当をお届けします

社協では、三沢市からの受託により「配食サービス」を実施しております。

専用の保温容器にご飯・おかず・味噌汁のセットで日替わりのメニューでお届けします。

●**対象者**
概ね65歳以上のひとり暮らしの方、高齢者夫婦、障害のある方等で食事の支度が難しい方。
※申し込みの際に体調等の聞き取りをさせていただきます。

●**料金**　一食500円
※一か月分をまとめて、翌月初めに集金します。

●**実施日**
月曜日から金曜日まで(土・日・祝日は休み)で、利用する曜日を選択できます。

●**その他**
・ご飯とお粥の選択ができます。(きざみ食や減塩食には対応できません。)
・アレルギー等についてはご相談に応じます。
・ボランティアにより午前中に配達し、午後に空き容器を回収します。

●**メニュー例**［→写真］
ご飯・豆腐とワカメの味噌汁・銀鮭の塩焼き・野菜のかき揚げ・切り干し大根・金時豆・古漬け・オレンジ

平成30年度 事業報告・決算報告

「社会福祉協議会」略して『社協(しゃきょう)』は、誰もが住み慣れたまちで安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざし、住民や関係機関・団体・ボランティアなどと協働で、様々な福祉活動を行っている民間団体です。

平成30年度の事業・決算は次のとおりです。

地域のつながりを育むために

○地域きずな支えあい

生活支援体制整備事業

地域で安心してくらすための体制を整えるため、調査活動や地域座談会を行いました。

○第31回 三沢市民福祉大会

地域福祉の推進に貢献された46名の方々が表彰されました。記念講演は中島美華氏を講師に「おたがいさまおかげさま」と題して介護体験や人と人とのつながりについて講演頂きました。

○第13回 社協まつり

社協まつりは台風の影響により中止となったため、前日に「ふれあいバザー」を開催し、参加団体の交流を図りました。

○介護者のつどい

家族の介護をしている方の情報交換とリフレッシュを目的に、日帰り旅行を実施しました。

○福祉安心電話サービス

○ボランティアセンター

○福祉団体の育成

内訳　○収入の部 ①事業活動の部

会費	3,903,700
寄付金	2,163,876
補助金	27,224,800
受託金	104,878,240
貸付事業償還金	455,000
事業収入	21,788,500
就労支援事業収入	10,199,034
障害福祉サービス等事業収入	33,620,430
受取利息配当金収入	13,712
その他の収入	911,870
計	205,159,162

平成30年度 決算

○収入の部

① 事業活動の部	205,159,162 円
② 施設整備等の部	0 円
③ その他の活動の部	132,820,716 円
④ 繰り越し活動の部	25,851,242 円
合　　計	363,831,120 円

●支出の部

⑤ 事業活動の部	218,363,861 円
⑥ 施設整備等の部	648,000 円
⑦ その他の活動の部	122,471,235 円
合　　計	341,483,096 円

当期末支払資金残高	22,348,024 円

○ボランティア推進校指定
市内小中学校12校を「ボランティア推進校」に指定し、福祉活動に取り組んでいただきました。
○高齢者擬似体験
・車イス体験

○地域・児童生徒
見守り活動
老人クラブによる登下校の見守り活動を進めました。
○ソーシャルワーク実習受入
社会福祉士養成のための相談援助実習の受入を行いました。
○路線バスいきいきパス券の発行(受託)

安心・安全の生活に向けて

○ふれあい相談事業
一般相談、福祉相談、法律相談を実施しました。
○日常生活自立支援事業
三沢市・六戸町・横浜町・六ケ所村を管轄し、福祉サービスの利用援助と金銭管理を行いました。
○生活福祉資金の貸付
○助け合い金庫の貸付
○フードバンク事業

毎日を暮らしやすく

○歳末支援事業
町内会や福祉団体の交流事業へ助成しました。

○移送サービス事業(受託)
○配食サービス事業(受託)
○ベッド・車イス等の貸与
○愛の輪基金 果実の活用
基金の利息等で、学校図書購入費用として、小中学校2校に助成しました。

法人強化に向けて

○社協会員の募集・拡大
○広報活動の充実
○財務管理の強化
○理事会・評議員会の開催

施設運営事業

○就労継続支援B型事業所
ワークランドつばさの運営
○児童館7館の指定管理
・松原児童センター
・木崎野児童クラブ
・古間木児童センター
・上久保児童センター
・おおぞら児童センター
・岡三沢児童館
・岡三沢児童クラブ

内訳　●支出の部 ⑤事業活動の部

人件費支出	158,322,704
事業費支出	21,687,830
事務費支出	22,238,120
生産事業支出	9,695,688
貸付事業支出	545,000
共同募金配分金事業支出	4,427,323
分担金支出	63,862
助成金支出	685,885
負担金支出他	559,540
その他の支出	137,909
計	218,363,861

単位：円

内訳　○収入の部 ③その他の活動の部

積立資金取崩収入	10,000,000
拠点区分間繰入金収入	82,187,300
サービス区分間繰入金収入	36,946,780
その他の活動による収入	3,686,636
計	132,820,716

内訳　●支出の部 ⑥施設整備等の部

器具及び備品取得支出	648,000

内訳　●支出の部 ⑦その他の活動の部

基金積立資産支出	509,417
拠点区分間繰入金支出	82,187,300
サービス区分間繰入金支出	36,946,780
その他の活動による支出	2,827,738
計	122,471,235

ありがとうございました

4月25日から6月19日までに頂いたご寄附をご紹介します。

［寄附金］

戸大建設工業株式会社
（代表取締役 戸澤 章）様
4月25日　50,000円

三沢芸能協会
（会長　山本 昭一）様
5月7日　20,000円

匿　名　様
5月7日　100,000円

福田　妙子　様
5月28日300,000円

三沢市老人クラブ連合会
踊りクラブ
（代表　小田島 幸子）様
6月4日　10,000円

匿　名　様
6月14日　1,500円

種市　一正　様
6月19日　8,260円

●学校図書購入費
助成事業への指定寄附

匿　名　様
5月22日　10,000円

○社会福祉協議会・共同募金委員会への寄附は、所得税法及び法人税法の優遇措置が認められてます。

○この社協だよりは、「赤い羽根共同募金」の配分金で作成しています。皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

法律相談日のお知らせ

社協では、弁護士による無料法律相談を行っています。相談時間は午後１時からで一人につき30分、事前の予約が必要です。

相談日　７月９日(火)　８月６日(火)

困りごと相談・予約は　５２－３２７０
三沢市社会福祉協議会 ふれあい相談所まで

地域きずな生活支援体制整備事業

笑顔の“わ”

江頭正博さん（下久保）

集会所を誰でも気軽に立ち寄れる『憩いの窓口』にしたいと、地域の活動に積極的に取り組んでいる江頭さん。子どもたちから「おじちゃん！」と声をかけられ、「これも防犯だし人のつながり」と笑顔を見せます。集会所には自ら作成した町内防災マップや班区割図等が所狭しと貼られていました。分かりやすく作られたそれらの掲示物には、住民の安全や、人とのつながりを大事にしている江頭さんの人柄と情熱が感じられました。

川柳の時間

福祉川柳～

やれることただやるだけでボランティア
モットーは社協丸ごとすぐやる課
とじこもり何とかしたくなる社協

時事川柳～

なりゆきでベストセラーの希林さん
シャンシャンが上野の山で観る五輪
交番に安心安全無い時代

事務局ＯＢ　松田

前号から始まった新企画『笑顔の“わ”』、このコーナーでは、熱意と思いやりをもって福祉活動に取り組んでいる方、地域で輝いて活動されている方をご紹介してまいります。「あの人はどう？」と心当たりのある方は、ぜひ、社協まで情報をお寄せください。地域きずな体制整備事業取材班がお伺いいたします。